住民が主役

くらしと福祉を支える あたり前の市政に

日本共産党市川市議団

市長に予算要望書を渡し（上）、懇談する日本共産党市川市議団。上左から廣田徳子・清水みな子・金子貞作市議、大久保市長、高坂進・桜井雅人市議（12月11日：市長室）

市長に、２０１６年度予算要望書を提出

住民が主役の自治体の魂は「福祉の増進」（地方自治法）、くらしと福祉を支え、住みよい街づくりなどを支援することが本来の仕事です。また、どんな施策でも市民の声をよく聞いて、まとめあげるのが地方自治の本来の姿です。

日本共産党市議団は、「くらしと市政アンケート」に取り組み、市民の様々な意見や要望をお聞きし、2016年度の予算要望書（194項目）をまとめ12月11日、大久保市長に提出し、懇談しました。

日本共産党市議団は、市民の声が反映する市政に、今年も全力でがんばります。

＜アンケートの回答ありがとうございました＞

Q、くらしは以前と比べてどうですか

- □よくなった　2.49%
- □苦しくなった　56.05%
- □変わらない　38.31%

Q、市川市政にのぞむことを選んでください（複数の選択可）

1位　ムダな公共事業の削減
2位　市職員の給与削減
3位　国民健康保健税引き下げ
4位　高齢者福祉の充実
5位　公共料金の引き下げ
6位　医療費の窓口負担軽減
7位　生活道路・公園の整備
8位　保育園の待機児解消
9位　医療体制の充実
10位　防災・減災対策の充実

1,206通の回答から一部を集計しました

市民から寄せられた声

- ◆弱い人たちが普通に生活していける世の中にしてほしい（70代：主婦）
- ◆国保税が高くて払えない。市職員の対応が悪くて電話したくない（30代：主婦）
- ◆限られた予算をどう使うか、それが間違っている（70代：年金生活者）
- ◆どんな街にしたいのか？伝わってこない。無駄のない安定した市川に（60代：主婦）

市川市の財政は黒字

市は、「財政が厳しい」ことを盛んに強調していますが、2014年度は38億7400万円の黒字（実質収支）です。また、借金も5年間で93億円減っています。そして積立金現在高は197億円あります。そのため市川市は国の交付金を受けない数少ない不交付団体になっています。（2014年度決算資料より）

日本共産党市川市議団／議会報告ニュース　2016年１月発行：第288号　市川市八幡1－1－1
TEL（334）1111　市役所内共産党控室

12月市議会

11月27日から12月11日まで12月市議会が開かれました。日本共産党は高坂進議員が代表質問、他の4人が一般質問を行いました。市長は、保育園・障害者施設の民営化、マイナンバー関連、市川市第2庁舎新築工事など38議案を提案し、議会で可決。日本共産党は民営化やマイナンバーなど３議案に反対し、討論しました。

マイナンバー 記載せずとも罰則なし

市役所に27,000通が返送されるなど、通知カードや個人番号カードの所持や持ち歩きに強い不安の声があがっています。

市は「個人番号の記載をしなくても行政手続きはできる」と答え、罰則もありません。また、国策事業なのに市負担が2億4000万円以上かかり、利便性より危険性が増すマイナンバー制度は中止すべきです。

公共施設の使用料 統一減免基準を実施

使用料が値上げとなり市民活動も自粛するようになっています。とくにスポーツ施設は３倍の値上げで、「前の料金に戻してほしい」という声が…。市は減免基準（減免率75%）を設け、800を超える団体を選定。公益的活動をする団体を市が認定し、今年4月から適用。市議団は、活発な市民活動を大いにすすめる立場で負担軽減策とるべきと要望しました。

値上げに賛成した議員も「上限が必要」

使用料値上げに賛成した議員が、12月議会で質問し「賛成したから強く言えないが、体育館を利用する団体が２時間２万円が６万円になり、高額な負担となった。上限を設けるなど検討すべき」と迫りました。

コスト削減優先の民営化に反対

宮久保保育園、湊新田保育園及び妙典保育園の建物を民間に無償譲渡します。そして運営費が3園で１億5300万円削減される。

障害者施設南八幡ワークスは今年４月、チャレンジ国分は平成29年４月、梨香園は平成30年４月から民営化。3施設で年間3000万円が経費削減されるとしています。

日本共産党はコスト削減ありきの民営化に反対し、保育園は児童福祉法第24条にある市の責任を果たすこと、そして、事業者が安定的に運営できるように対策をとることを求めました。

百条委員会

今まで、11回の委員会が開かれ、３人の証人と２人の参考人からの聴取を行いました。その結果、１人の証人から「アンケートは実施していない」と重大な証言。また、印刷費の領収書が虚偽のものだったことが判明。さらに委員会では、アンケートを印刷したとされる会社に対する資料請求も行っています。

主な議案・意見書・請願の賛否

- ◆マイナンバー法に基づく個人番号利用・提供に関する条例の制定　賛成多数で可決（反対共産外１人）
- ◆市川市立保育園の３園を公施設の供用を廃止する条例改正　賛成多数で可決（反対共産党５人）
- ◆市川市障害者福祉施設の３施設を公施設の供用を廃止する条例改正　賛成多数で可決（反対共産党５人）
- ◆政治分野における女性活躍推進法の制定並びに公職選挙法の一部改正を求める意見書　15対25で否決（共産賛成）
- ◆ユネスコによる「南京大虐殺文書」の登録に強く抗議し登録の白紙撤回を求める意見書　26対14で可決（共産反対）
- ◆沖縄辺野古への米軍基地建設の断念を求める意見書　14対26で否決（共産賛成）
- ◆安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書の請願　15対26で不採択（共産賛成）

保育園の待機児童対策
今年8園増設（定員433名）

新設予定保育園（仮称）

- ○そらまめ保育園市川大野（奉免町）
- ○キャリー保育園本八幡（東菅野）
- ○メリーポピンズ市川ルーム（平田）
- ○聖和保育園（新田）
- ○若葉インターナショナル幼保園行徳
- ○すみれキッズアカデミー（宝）
- ○ゆう保育園（妙典）
- ○ししの子保育園市川（菅野）

それでも待機児童は解消せず

市川市は、私立認可保育園19園208名の定員増が可能、2016年度新設予定園8園433名の定員など、3年間で待機児童を解消できると言っています。11月現在、認可保育園申請児童数は1407名。他市同様、市川市でも保育職員不足は深刻。職員確保には賃金など処遇改善が急務です。

魅力ある保育職場、子どもたちの健やかな成長が保障される保育

園庭が無いので小学校の校庭を借りて運動会（市内）

未婚女性の子ども保育料引き下げる

結婚歴のないシングルマザーに対し、市は寡婦（夫）控除のみなし適用を検討し、保育料を引き下げました。

昨年４月から減免された方は年間で82,500円減額になります。これは昨年２月市議会で共産党の質問に市が検討を約束し実行されたものです。

奨学金の予算増額を検討

市川市が行っている給付型奨学資金制度。しかし予算不足で支給要件に該当しながら支給されない方が毎年50人前後いる問題を9月議会で取り上げ、市は「予算の増額を検討したい」と答弁しました。

放課後保育クラブを増設

【増設する放課後保育クラブ】

学校名	設置場所
◆市川小学校	余裕教室
◆真間小学校	１階倉庫
◆冨貴島小学校	余裕教室
◆若宮小学校	余裕教室
◆新浜小学校	体育館倉庫
◆富美浜小学校	体育館倉庫
◆幸小学校	余裕教室

対象が６年生まで拡大され、400人の定員増を図るため放課後保育クラブを増設します。増設に伴い、エアコン設置、インターホン設置、床修繕、水道設置、電話線など施設や備品を増設し、対応。12月議会で修繕費など２千万円を予算化しました。

家庭ごみの有料化は見直しを

市は、ゴミ収集に関して、３つのプラン「家庭ごみの有料化」「戸別収集の導入」「収集回数の削減」を示して、市民説明会を行っています。

党市議団は、ごみの減量・資源化はさらにすすめることは当然ですが、「家庭ごみの有料化」など、市民負担を増やすやり方は見直すべきと主張しました。

みなさんの願いが実現

歩道の段差解消

住民の要求が一番多い歩道の段差解消。写真は南行徳周辺、改修が終わっている所です。

早くどの歩道も安全に通れるようになるまで、今年も党市議団はがんばります。

水害対策が前進

冠水・浸水被害が後を絶たない市川市。原木地区の被害住民とともに対市交渉を行い、12月議会でも取り上げ、今後は原木第2排水機場のポンプ増設により排水能力が2倍に増強予定と市は答弁しました。

道路舗装が実現

「くらしと市政アンケート」に寄せられた道路のデコボコ改善を市に要望し、昨年舗装が実現しました。（曽谷３丁目）

「赤レンガ」の保存を

国府台にある旧血清研究所跡地に建っている「赤レンガ（旧陸軍武器庫）」を保存、活用しようと６年前から取り組みがすすめられています。見学会、写真展、シンポジウム、本の出版も行なわれました。

共同も広がる

9・6集会（大洲公園）

行徳の宣伝

超党派宣伝（昨年7月18日：本八幡駅）

「安保関連法」廃止請願に15人賛成

安全保障関連２法の廃止を求める意見書採択を求める請願が12月市議会にも出され、常任委員会、本会議とも日本共産党は「戦争法は憲法違反であり、民主主義を否定するもの」と意見書採択を求める賛成討論を行いました。本会議では賛成者15人となりましたが、不採択となりました。